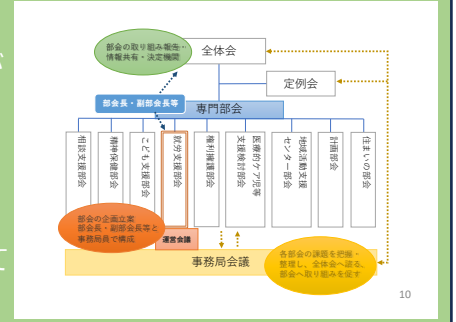




「帯広市地域自立支援協議会や組織改編について」

帯広市地域自立支援協議会事務局より、次年度の自立支援協議会に係る発表がありました。これまでの自立支援協議会の課題として、各会の役割を整理する必要性や部会長が不在の会があること、地域課題を吸い上げる場や地域全体の課題として協議する場が不十分であること等が挙げられておりました。

そのような課題を踏まえ、就労・社会活動部会は、次年度から【就労支援部会】として生まれ変わります。



「令和6年度 就労支援部会 役員を選任」

次年度の就労支援部会の体制に向け、部会長（1名）と副部会長（2名）の選任が行なわれ、当日参加者全員の賛成が得られました。

選任基準については、部会がより機能的なものになるよう、「移行支援事業所」「就労継続支援事業所」「一般就労」の3分野から一人ずつ配置するという考え方を基にされています。



部会長
帯広ケア・センター
八重樫 薫 氏



副部会長
障がい福祉サービス
事業所 きりり
高橋 良 氏



副部会長
十勝障がい者就業・
生活支援センターだいち
新明 雅之

意見交換

現在の皆さんが抱える課題とそれをどのように解決していけるといいか、それぞれの立場からお話を伺いました

以下、挙げられた意見をご紹介します

現状

- ・ 社会資源が少ない
- ・ 相談支援のひっ迫
- ・ スタッフの不足
- ・ スタッフのスキル不足
- ・ 人件費の悩み
- ・ 事業所利用者の減少
- ・ 一般就労実績が少ない
- ・ 制度の矛盾
- ・ サービスを充実させられない
(資源の確保・収益・工賃)
- ・ 時代の変化に伴う働き方の多様化への対応

課題

- ・ 福祉サービス以外の相談に対応できる社会資源が少ない
- ・ 相談の即対応が難しいことが多い
- ・ 熟練したスタッフの高齢化
- ・ 後継者が不在
- ・ 早急なスタッフのスキルアップが必要
- ・ 利用者確保が急務
- ・ 就労定着の難しさがある
- ・ 支援体制の再構築が必要
- ・ 自己理解が進まない
- ・ 制度と現状のギャップ
- ・ 収益の低迷

内容

- ・ 有資格者、実務経験者を確保したい…
- ・ 柔軟に対応できる生活のサポートを構築したい…
- ・ 人材育成のための研修やスーパーバイズがあれば…
- ・ 事業所の存在を地域に周知したい…
- ・ よりよい支援で定着を図りたい…
- ・ 支援の発想の転換が必要だがアイデアが…
- ・ スタッフ同士での研修や交流がしたい…
- ・ 基幹相談支援センターや他事業所との連携を進めたい…
- ・ 施設外作業を受注したいが…

まとめ

今回の意見交換では、次年度の部会の事務局や役員へのバトンタッチを行うために、何かゴールや解決策を見出すというよりも、皆さんの抱える悩みや地域の実情を赤裸々に語っていただいた時間となりました。意見交換をお聞きして、本日挙げられた課題を事務局・役員・参加者が自分事と捉え、協議していくことで、帯広市と地域の事業所が一体となってより良い地域を作っていくのではないかと感じました。意見交換の内容が次年度の部会にどのように反映されていくのか、今後の就労支援部会にご期待下さい。